

CLT広報大使委嘱式の概要(令和3年3月29日、内閣総理大臣官邸にて)

委嘱式では、内閣官房内閣審議官による趣旨説明の後、岡田直樹内閣官房副長官から委嘱状を交付し、CLT広報大使の小林優希さんからコメントをいただきました。

趣旨説明

CLTは、中高層建築物の構造材としても利用できる木質パネルです。CLTの活用は、国内の豊富な森林資源を循環利用するということであり、国土の保全、水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等に繋がり、地域経済にも貢献します。

このため政府では、内閣官房副長官を議長とする「CLT活用促進に関する関係省庁連絡会議」を設置するなど、その活用促進に取り組んでおり、平成29年より、各種イベントを通じてCLTの魅力を国民の方々に発信するなどの普及啓発にご協力をいただく「CLT広報大使」を委嘱しています。

委嘱状の交付



こばやし ゆうき にっぽん

CLT広報大使: 小林 優希さん(2021ミス日本みどりの女神)のコメント

この度はCLT広報大使に任命して頂き誠にありがとうございます。

私はちょうど1週間前に、みどりの女神に選んでいただいたばかりです。

私はミス日本に応募するときから、みどりの女神の活動にとっても興味があり、日本の森林を守るために頑張る方々のお力になりたいと思っておりました。

私にとって森や木々はとても親しみを感じるものです。私の育った家の近所の公園にログハウスがありました。幼稚園のころの私はこのログハウスの中がとても大好きで、毎日のように遊びに行き、そこで過ごす時間を心地よく感じておりました。木のむき出しの匂い、触る感覚、温もりのある色に、親しみを感じていたのだと思います。

コロナの時代になり、巣ごもりの時間が増えていると聞きます。私自身、家にいる時間がとても増えました。そんなとき、思い出すのは幼少の頃の記憶にある、木の家です。きっとこれからは今まで以上に、住まいの空間の居心地の良さが大事になってくると思います。

これからCLTを用いた家や建物が増えていけば、木を身近に感じる、居心地の良い場所がたくさん生まれてくると期待しております。

ぬくもりがあって丈夫な素材のCLT。広報大使として多くの方にCLTの魅力をお知らせしていきたいと思いません。よろしくお願いいたします。

